



## 新たな産業による「稼ぐ力」の創出

鹿児島県商工労働水産部  
部長 平林 孝之

このたび、4月1日付けで商工労働水産部長に就任しました平林です。

県内企業及び関係団体の皆様には、かねてから本県の産業振興に多大な御尽力、御支援をいただき深く感謝申し上げます。

着任から現在に至るまで、県内企業を20社近く訪問させていただき、工場見学を始め、意見交換を活発に行っています。世界に誇れる技術力を有した事業者の方々の競争力に驚かされています。

本県では、鹿児島県の持続的発展のために、昨年度策定しました新たな「かごしま製造業振興方針」に沿った事業を展開しております。

本年4月には「新産業創出室」を設置いたしまして、創業や起業の各段階に応じた集中的かつ継続的な伴走支援を行っており、新産業創出に向けた取組を始めています。

具体的には、製造業等の新分野進出やデジタル化推進への支援、またスタートアップ支援など、新たな産業による「稼ぐ力」の創出に向けた取組を支援しております。

今後は、国、県の研究機関、大学そして支援機関などとの連携を強化し、生産性向上や技術開発等の支援を通じて、企業の付加価値を高め、「稼ぐ力」を持つ多くの「オンリーワン企業」、「ナンバーワン企業」を生み出していきたいと考えております。

さらに、労働力不足がすでに懸念されている中、産業を担う人材の確保・育成を図るため、「ふるさと人財フェスタ」の開催など、「かごしま故郷(ふるさと)人財確保・育成プロジェクト」に引き続き取り組み、県内企業の人材確保の支援に取り組んでまいります。

このような中、工業技術センターは、県内企業の

「工業技術の拠りどころ」として、本県産業の技術ニーズを踏まえた研究開発を行うとともに、技術指導・相談、依頼試験・分析、設備機器使用等の技術支援を行っています。研究開発は、新たな技術を開発するための技術創出研究として「現場で使える低価格なAI実装モデルの構築」など5テーマ、企業からのニーズに対応するための技術高度化研究とし4テーマを実施しております。また、地域資源の高度利用、新素材・新材料開発、生産・加工システム、バイオ・食品、環境・生活・デザイン、電子・情報の6分野において「CNFを利用した繊維加工の実用化研究」など14テーマを実用化に向けて実施し、経済産業省の公募提案型受託研究などにも取り組んでいます。

技術支援においては、技術相談・指導は7,500件以上、依頼試験・分析は3,000件以上行っており、県内企業等の問い合わせ等に迅速に対応しております。設備使用は、昨年度導入しました微粒子拡散解析装置や接触角測定機等の利用を4月より開始いたしました。人材育成では、企業の技術者や研究者等で構成する各種研究会を運営し、技術者等を受け入れる技術指導を実施しております。

このような取組によって、工業技術センターを中心とした産学官連携が県内でも活発に進んでおり、研究開発の実用化など多くの事例が生み出されています。

皆様におかれましては、新事業の創出や新製品の開発に向けて、工業技術センターを積極的に活用していただき、本県地域経済の成長につなげていただきたいと思います。

終わりに、皆様の益々の御発展と御健勝・御活躍を心よりお祈りいたします。